

樹脂管用パイプサポート200 取扱説明書

■はじめに

- ①この取扱説明書は樹脂管用パイプサポート200の基本的な操作と安全な取扱い方法が記載してあります。

品 名	品 番
樹脂管用パイプサポート200	EJP-200

- ②この取扱説明書では、もしお守りいただかないと大きな事故が発生する恐れのある注意事項は「警告」という見出しの下に記載されています。また、もしお守りいただかないと工具の破損とともに事故を誘発する恐れのある注意事項は「注意」という見出しの下に記載されます。
- ③ご使用にあたってはこの取扱説明書をよく読み、十分理解したうえで正しく作業を行ってください。
- この取扱説明書に示されている操作方法及び安全に関する注意事項は、樹脂管用パイプサポート200を指定の使用目的に使用する場合のみに関するものです。
- この取扱説明書に書かれていない使用方法は絶対しないでください。
- ④この取扱説明書は、実際の作業をされる方がいつも手元においてご使用ください。

■使用目的

- ①主としてポリエチレンパイプ・ポリブテンパイプ・塩化ビニルパイプなどの切断時に、パイプを支えるための工具です。樹脂管用バース（別売り）・樹脂管用バーススタンド（別売り）と共にご使用ください。

■仕様

①使用対象管

ポリエチレンパイプ・ポリブテンパイプ・塩化ビニルパイプなど樹脂製のパイプ

②搭載能力

樹脂管	呼び 50 (最大径φ60mm) ~ 呼び 200 (最大径φ216mm) まで
-----	---

注：この商品の仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

■注意事項

△警告

- ①この取扱説明書に記載された使用目的・仕様の範囲で使用してください。指定している対象管以外の鋼管などにご使用になりますと、支えきれずに重大な事故に結びつくことがありますので、樹脂管以外には絶対に使用しないでください。

△注意

- ①パイプサポートを置くときは、床が丈夫で水平の所を選んでください。不安定な所では、工具が転倒し破損するばかりか、けがをする恐れがあります。
- ②パイプを載せる前に、確実にチョウボルトを締め付けてください。チョウボルトを確実に締め付けないと、事故の原因となる恐れがあります。
- ③パイプサポートの各部は常に点検を行い、損傷のある状態では使用しないでください。

■パイプサポートの組立

- ①調整ボルト凸部にパイプ受けをはめ込み、付属の六角ボルト (M10×16) ・平座金 (呼び10) により取付けを行ってください。

■作業の前に (日常の点検・メンテナンス)

- ①各部に損傷はないか、ボルト・ナットが緩んでいないかを点検し、ボルト・ナットが緩んでいれば、増し締めを行ってください。
- ②点検の結果、各部の損傷など見つかった場合は、品名・サイズ・異常のある箇所などを明確にして、お買い求めの販売店または裏面の連絡先まで修理をご依頼ください。

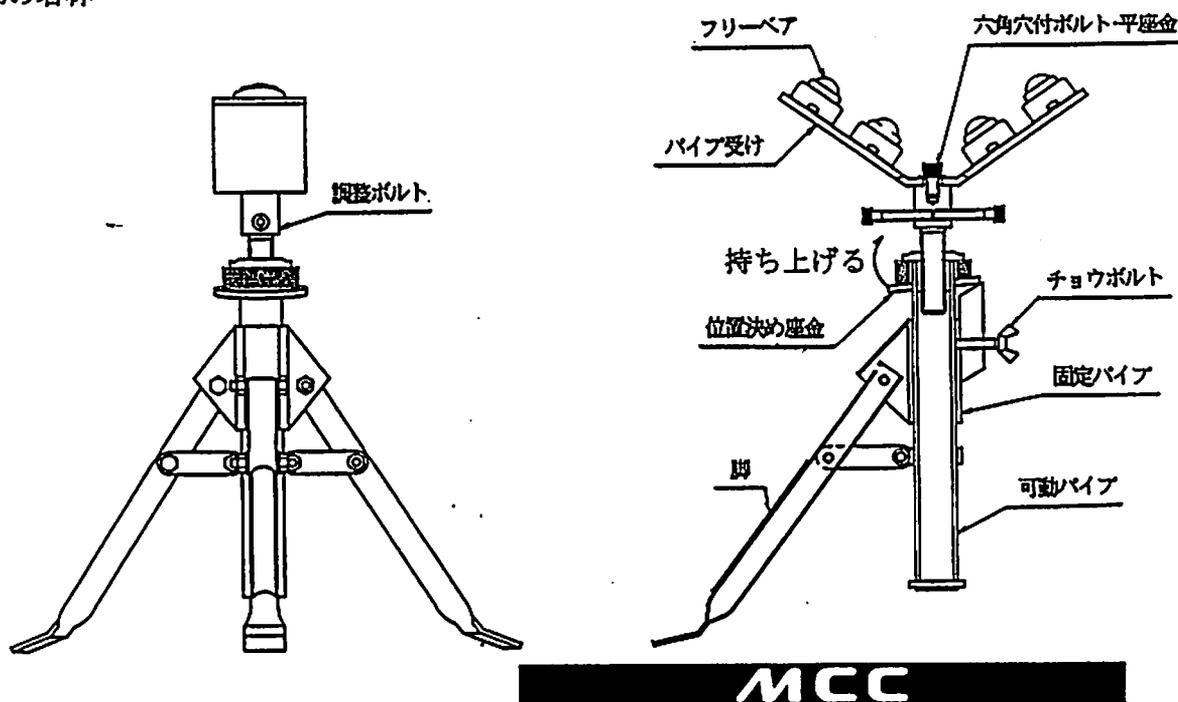
■操作方法

- ①調整ボルト部を持ってパイプサポートを持ち上げてください。
- ②チョウボルトを緩めて脚を広げ、床に置いてください。
- ③位置決め座金を持ち上げるにより、パイプ受けを下げてください。
- ④支えようとするパイプの高さに合わせてパイプ受けの高さを調整してください。パイプ受けを持って、上方に引き上げればパイプ受けは高くなります。
- ⑤高さの微調整は、調整ボルトを回して行ってください。調整範囲は最下部から45mmの範囲です。調整範囲を超えるとパイプ受けが外れます。
- ⑥高さの調整が終わった後、確実にチョウボルトを締め付けてください。

■作業の後に (脚を畳む時)

- ①チョウボルトを緩め、位置決め座金を持ち上げるにより、最下部までパイプ受けを下げてください。
- ②確実にチョウボルトを締め付けてください。
- ③調整ボルト部を持ってパイプサポートを持ち上げると、脚が畳めます。

■各部の名称



■本 社
〒578-0965 東大阪市本庄西2丁目82 ☎【06】747-6921 FAX【06】747-6926

■東京支店
〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町2丁目2-2大和銀行ビル5階
☎【03】3661-6055 FAX【03】3661-6049

■名古屋営業所
〒460-0024 名古屋市中区正木2丁目15-13 ☎【052】332-4589(代) FAX【052】331-9395